

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2027年3月17日まで（2021年2月26日設定）	
運用方針	米国国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の国債に投資を行います。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	米国国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告書（全体版）

米国国債7-10年ラダーファンド
（為替ヘッジなし）
（ラップ向け）



第4期（決算日：2023年3月17日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「米国国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジなし）（ラップ向け）」は、去る3月17日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先	
お客さま専用フリーダイヤル	0120-151034 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率			
(設定日)	円	円		%	%	%	百万円
2021年2月26日	10,000	—		—	—	—	1
1期(2021年9月17日)	10,505	0		5.1	95.4	—	1,786
2期(2022年3月17日)	10,636	0		1.2	96.1	—	1,491
3期(2022年9月20日)	11,673	0		9.7	96.6	—	841
4期(2023年3月17日)	10,978	0		△6.0	95.0	—	6

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首) 2022年9月20日	円		%	%	%
	11,673	—	—	96.6	—
9月末	11,567	△0.9		96.5	—
10月末	11,677	0.0		95.7	—
11月末	11,192	△4.1		94.8	—
12月末	10,686	△8.5		93.9	—
2023年1月末	10,772	△7.7		94.0	—
2月末	10,913	△6.5		95.2	—
(期 末) 2023年3月17日	10,978	△6.0		95.0	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第4期：2022年9月21日～2023年3月17日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第4期首	11,673円
第4期末	10,978円
既払分配金	0円
騰落率	-6.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ6.0%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第4期：2022年9月21日～2023年3月17日

投資環境について

▶ 債券市況

米国長期金利は上昇しました。

米国長期金利は、世界的なインフレ率の高まりを受けて、米国を中心に複数の国で積極的な金融引き締め観測が高まったことなどから、期間の初めから2022年10月にかけて上昇しました。その後、米国の消費者物価指数（CPI）の伸びが市場予想を下回ったことなどを背景に、11月にかけて米国長期金利は低下しましたが、12月の欧州中央銀行（ECB）会合において、積極的な金融引き締めの継続が示唆され、欧州金利が上昇したことなどから、2023年2月にかけて米国長期

金利はもみ合いながらも上昇基調で推移しました。その後の米国長期金利は、金融システムに対する懸念が高まったことなどから期間末にかけて低下しました。結果、期間を通じてみると、米国長期金利は上昇しました。

▶ 為替市況

米ドルは対円で下落しました。

米ドルは、CPIが市場予想を下回ったことなどをを受けて、積極的な金融引き締め観測が後退したことなどから、対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 米国国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジなし）（ラップ向け）

主要投資対象である米国国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の国債を組み入れた運用を行いました。

▶ 米国国債7-10年ラダーマザーファンド

残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債を主要投資対象とし、これらの債券の各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期 2022年9月21日～2023年3月17日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,551

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ 米国国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジなし）（ラップ向け）

米国国債7-10年ラダーマザーファンド
受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ 米国国債7-10年ラダーマザーファンド

米国国債を主要投資対象とし、原則として、残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債に投資し、各残存期間ごとの投資金額が同程度になるような運用を目指します。

2022年9月21日～2023年3月17日

> 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	23	0.204	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(18)	(0.161)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(3)	(0.027)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	1	0.006	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.004)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	24	0.210	

期中の平均基準価額は、11,117円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

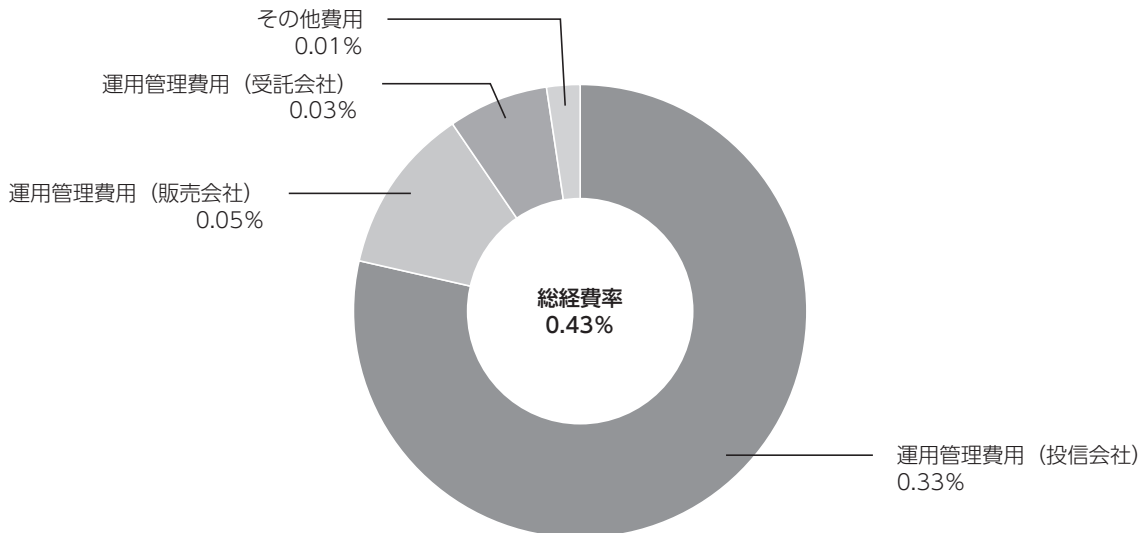
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.43%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月21日～2023年3月17日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債7-10年ラダーマザーファンド	22,830	27,700	653,166	816,540

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月21日～2023年3月17日)

利害関係人との取引状況

<米国国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジなし）（ラップ向け）>

該当事項はございません。

<米国国債7-10年ラダーマザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 6,764	百万円 2,181	% 32.2	百万円 4,644	百万円 3,407	% 73.4

平均保有割合 1.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年9月21日～2023年3月17日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 —	百万円 5	百万円 —	百万円 5	商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

(2023年3月17日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数		口 数	評 価 額
	千口		千口	千円
米国国債7-10年ラダーマザーファンド	635,192		4,855	5,921

○投資信託財産の構成

(2023年3月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
米国国債7-10年ラダーマザーファンド	千円 5,921	% 87.6
コール・ローン等、その他	836	12.4
投資信託財産総額	6,757	100.0

(注) 米国国債7-10年ラダーマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（26,876,223千円）の投資信託財産総額（27,000,938千円）に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル＝133.54円			
------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年3月17日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,757,628
コール・ローン等	836,626
米国国債7-10年ラダーマザーファンド(評価額)	5,921,002
(B) 負債	659,379
未払信託報酬	653,252
その他未払費用	6,127
(C) 純資産総額(A-B)	6,098,249
元本	5,555,042
次期繰越損益金	543,207
(D) 受益権総口数	5,555,042口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,978円

<注記事項>

- ①期首元本額 720,740,380円
 期中追加設定元本額 57,725,050円
 期中一部解約元本額 772,910,388円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0978円です。

②分配金の計算過程

項 目	2022年9月21日～ 2023年3月17日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	276,779円
分配準備積立金額	585,139円
当ファンドの分配対象収益額	861,918円
1万口当たり収益分配対象額	1,551円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2022年9月21日～2023年3月17日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 42
受取利息	1
支払利息	△ 43
(B) 有価証券売買損益	370,382
売買益	8,320,398
売買損	△7,950,016
(C) 信託報酬等	△ 659,379
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 289,039
(E) 前期繰越損益金	585,139
(F) 追加信託差損益金	247,107
(配当等相当額)	(217,208)
(売買損益相当額)	(29,899)
(G) 計(D+E+F)	543,207
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	543,207
追加信託差損益金	247,107
(配当等相当額)	(276,779)
(売買損益相当額)	(△ 29,672)
分配準備積立金	585,139
繰越損益金	△ 289,039

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

米国国債7-10年ラダーマザーファンド

《第14期》決算日2023年3月17日

〔計算期間：2022年9月21日～2023年3月17日〕

「米国国債7-10年ラダーマザーファンド」は、3月17日に第14期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として米国の国債に投資を行います。 原則として、残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債に投資し、各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用をめざします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	米国の国債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率			
	円	%	%	%	百万円
10期(2021年3月17日)	11,183	△ 2.3	97.9	—	10,919
11期(2021年9月17日)	11,580	3.6	98.2	—	13,775
12期(2022年3月17日)	11,753	1.5	98.5	—	24,819
13期(2022年9月20日)	12,956	10.2	98.8	—	26,518
14期(2023年3月17日)	12,194	△ 5.9	97.8	—	27,000

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首)			円	%			%
		2022年 9 月20日	12,956	—	98.8	—	—
		9 月末	12,835	△0.9	96.9	—	—
		10月末	12,967	0.1	97.2	—	—
		11月末	12,418	△4.2	98.1	—	—
		12月末	11,843	△8.6	96.9	—	—
		2023年 1 月末	11,943	△7.8	96.9	—	—
		2 月末	12,117	△6.5	98.1	—	—
(期 末)							
		2023年 3 月17日	12,194	△5.9	97.8	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

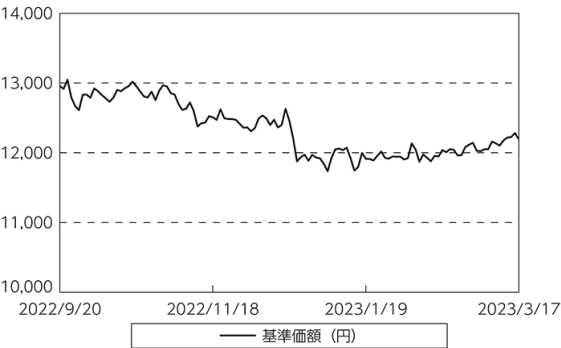
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ5.9%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・米国長期金利は上昇しました。
- ・米国長期金利は、世界的なインフレ率の高まりを受けて、米国を中心に複数の国で積極的な金融引き締め観測が高まったことなどから、期間の初めから2022年10月にかけて上昇しました。その後、米国の消費者物価指数（CPI）の伸びが市場予想を下回ったことなどを背景に、11月にかけて米国長期金利は低下しましたが、12月の欧州中央銀行（ECB）会合において、積極的な金融引き締めの継続が示唆され、欧州金利が上昇したことなどから、2023年2月にかけて米国長期金利はもみ合いながらも上昇基調で推移しました。その後の米国長期金利は、金融

システムに対する懸念が高まったことなどから期間末にかけて低下しました。結果、期間を通じてみると、米国長期金利は上昇しました。

◎為替市況

- ・米ドルは対円で下落しました。
- ・米ドルは、C P I が市場予想を下回ったことなどを受けて、積極的な金融引き締め観測が後退したことなどから、対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債を主要投資対象とし、これらの債券の各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用を行いました。

○今後の運用方針

- ・米国国債を主要投資対象とし、原則として、残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債に投資し、各残存期間ごとの投資金額が同程度になるような運用を目指します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 9 月21日～2023年 3 月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) そ の 他 費 用	1	0.005	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.005)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	1	0.005	
期中の平均基準価額は、12,334円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年 9 月21日～2023年 3 月17日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ア メ リ カ	国債証券	千アメリカドル 77,770	千アメリカドル 62,672

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2022年 9 月21日～2023年 3 月17日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	
		$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 6,764	百万円 2,181	% 32.2	百万円 4,644	百万円 3,407	% 73.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年 3 月17日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	225, 920	197, 844	26, 420, 191	97. 8	—	97. 8	—	—
合 計	225, 920	197, 844	26, 420, 191	97. 8	—	97. 8	—	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	0. 625 T-NOTE 300515	0. 625	20, 380	16, 521	2, 206, 258	2030/ 5 /15
		0. 625 T-NOTE 300815	0. 625	20, 380	16, 426	2, 193, 661	2030/ 8 /15
		0. 875 T-NOTE 301115	0. 875	20, 100	16, 474	2, 200, 010	2030/11/15
		1. 125 T-NOTE 310215	1. 125	19, 910	16, 603	2, 217, 226	2031/ 2 /15
		1. 25 T-NOTE 310815	1. 25	20, 000	16, 604	2, 217, 337	2031/ 8 /15
		1. 375 T-NOTE 311115	1. 375	19, 800	16, 548	2, 209, 934	2031/11/15
		1. 625 T-NOTE 310515	1. 625	19, 200	16, 532	2, 207, 766	2031/ 5 /15
		1. 875 T-NOTE 320215	1. 875	18, 800	16, 350	2, 183, 493	2032/ 2 /15
		2. 75 T-NOTE 320815	2. 75	17, 550	16, 379	2, 187, 263	2032/ 8 /15
		2. 875 T-NOTE 320515	2. 875	17, 600	16, 613	2, 218, 604	2032/ 5 /15
		3. 5 T-NOTE 330215	3. 5	16, 400	16, 302	2, 177, 052	2033/ 2 /15
		4. 125 T-NOTE 321115	4. 125	15, 800	16, 486	2, 201, 582	2032/11/15
合 計					26, 420, 191		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2023年 3 月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	26, 420, 191	97. 8
コール・ローン等、その他	580, 747	2. 2
投資信託財産総額	27, 000, 938	100. 0

(注) 期末における外貨建純資産（26, 876, 223千円）の投資信託財産総額（27, 000, 938千円）に対する比率は99. 5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル＝133. 54円		
-------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年3月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	27,000,938,420
コール・ローン等	467,328,404
公社債(評価額)	26,420,191,188
未収利息	105,604,711
前払費用	7,814,117
(B) 負債	47
未払利息	47
(C) 純資産総額(A－B)	27,000,938,373
元本	22,142,582,439
次期繰越損益金	4,858,355,934
(D) 受益権総口数	22,142,582,439口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,194円

<注記事項>

- ①期首元本額 20,467,633,198円
期中追加設定元本額 5,985,448,100円
期中一部解約元本額 4,310,498,859円
また、1口当たり純資産額は、期末1.2194円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

MUKAM 米回国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	7,032,142,074円
MUKAM 米回国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジ70)(適格機関投資家限定)	4,425,727,828円
MUKAM 日米コアバランス(除く米国株)2022-03(適格機関投資家限定)	2,941,907,404円
MUKAM 日米コアバランス 2021-07(適格機関投資家限定)	2,773,815,321円
MUKAM 米回国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジ可変型)2016-03(適格機関投資家限定)	2,139,968,457円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(標準型)	1,379,257,050円
日米コアバランス(FOFs用)(適格機関投資家限定)	1,040,554,377円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(保守型)	226,699,419円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(積極型)	174,815,128円
米回国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジなし)(ラップ向け)	4,855,669円
米回国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)(ラップ向け)	1,978,173円
MUKAM 米回国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)	861,539円
合計	22,142,582,439円

○損益の状況 (2022年9月21日～2023年3月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	249,571,033
受取利息	249,651,449
支払利息	△ 80,416
(B) 有価証券売買損益	△1,882,075,656
売買益	122,816,058
売買損	△2,004,891,714
(C) 保管費用等	△ 1,486,875
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,633,991,498
(E) 前期繰越損益金	6,050,847,704
(F) 追加信託差損益金	1,391,850,281
(G) 解約差損益金	△ 950,350,553
(H) 計(D+E+F+G)	4,858,355,934
次期繰越損益金(H)	4,858,355,934

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。